

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度1月

2020年スタート

校長 菊池 修

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

3学期がスタートしました。そして、2020年（令和2年）のスタートです。

2020年は、一番のビッグイベント「東京オリンピック・パラリンピック」の開催の年です。学校教育の場でも「オリンピック・パラリンピック教育」としてリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの前から取組を行ってきました。当時はまだまだ先の話とと思っていましたが、いよいよ目の前に迫ってくると、競技自体には全く関係のない私でも、期待と緊張感が高まってきている気がします。夏休みの頃には日本中が熱気に包まれていることでしょう。九小では、今年度のオリンピック・パラリンピック教育の取組の一環として、1月30日（木）に北京オリンピック、ソフトボール金メダリスト、佐藤理恵さんをお招きしてオリンピックに学ぶ授業を行います。東京オリンピックでは野球・ソフトボールが復活します。子どもたちの興味関心も高まることと思います。

4月からは新しい学習指導要領の完全実施となります。学校現場としてはとても大きな変化となります。それぞれの学年で教える内容が変わるものが出てきます。今回の改訂で特に大きなものは、外国語が高学年で週2時間、中学年で1時間となります。また、プログラミング教育が必修となるなど、私たち教師も学んでいるところです。

大きな行事、改訂、改革、そして始まりと2020年は話題の多い年、記憶に残る年となりそうです。

さて、学校では3学期がスタートしました。学校の1年は4月はじまり3月終わりなので1年間がまだ続いているという感覚ですが、やはりお正月を迎えるというのは、気持ちを新たにして「今年はこのことをがんばるぞ。」と、目標を立てるのにふさわしい時です。今年はずみ年、ネズミ年の「ね」は「子」と書きますが、これは新しい生命が種子の中に萌（きざ）し始める状態を表している意味があるのだそうです。新しいものが生まれる、作り出される、新しいことが始まるなどいろいろな意味で新しいことにチャレンジしたり始めたりするのにふさわしい年でもあると思います。

3学期は授業日数も一番少ないのですが、学年末ということもありあわただしさの中で時が過ぎていきます。あっという間に3学期が終わってしまう感じがします。特に6年生は「卒業」モードに入っていきます。「卒業」がテーマになったり、活動名に入ったりして、そこに向けた取組で忙しくなることでしょう。だからこそこの3学期の一日一日を大切にさせていきたいと思えます。

今年も教職員一同力を合わせて努力していきます。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いたします。